

報徳美合セミナー再開

8月1、2日愛知県美合町で全報連の主催による標記セミナーが開催されました。美合セミナーはここ10年中断していましたが、全報連尾島会長の旗振りにより再開しました。今回は小田原報徳二宮神社草山宮司のお話は生食用には向かないミカンやレモンをジュースやキヤンデイ、ジェラードに加工し付加価値をつけて販売するという取り組みでした。報徳仕法株式会社をくりミカンの「徳」を引き出そうという試みです。神社の宮司さんがみかん農家をまとめてそこまでやるのかという微笑ましい驚きでした。

高校野球で有名な報徳学園の城戸事務局長のお話は中学校、高校の全校生徒と先生に三戸岡道夫さんの本「二宮金次郎の一生」を読ませその感想を書いてもらうもの。この試みで報徳についての関心は大変深まったとのことでした。藤本出席

里山倶楽部活動状況

9月9日(火) 果樹園手入れ
毎月第二火曜日は定例の手入れ日ですが、3月8日にブルーベリーやミカンなど40本の苗を植えて、半年が経過しました。



今年の夏は前半雨が少なく、天水に期待しましたが、枯れる苗があったり、草刈り機で誤切断などもありましたが、まずは順調に育っています。夏場の手入れは特に地元でコンペイトウと呼ばれる蔓性の雑草が繁茂し退治に苦戦し

ました。当日は腰を痛めていた小関さんが駆けつけてくれ、ジュースの差し入れをいただきました。参加者6名。

9月13日(土) 椎茸園開設
春先に菌打ちしたコナラのほだ木60本を1組5本として、倉馬の里の林内で日陰で風通しの良い所を選んで立てかけました。それぞれにネームタグを付けました。周囲に猪対策として有刺鉄線の柵を作りました。収穫は来年の秋頃からで、今から楽しみにしています

参加者6名



開村10周年記念行事

「倉馬の里」にて挙行

「学園はなの村」では11月8日に倉馬の里開村10周年記念のお祝いを開催することになりました。当日は午前10時30分より近隣住民をお招きし、記念式典を行います。

式典には同じ倉馬の大沢地区廃村跡で森の再生に奮闘中の「時の寿の森倶楽部」理事長の松浦茂夫氏を講師にお迎えしての記念講演が予定されており、準備が進められております。

思えば、故宮城正雄氏が笹の生い茂る棚田跡を一人で40日も掛け、草を刈りあげ、道開きした当時から顧みると、感無量の思いを禁じえません。

尚、式典から時間をおいて懇親会を設定しておりますがこれは飲酒運転を避けるための工夫であります。

学園花の村代表

池守 幸一